

松坡文庫研究会 第十一回講演会

「田辺三兄弟 元・至・定」

講師 褐田 潤一（松坡文庫研究会代表）

日時 一〇一六年四月二日（日曜日）

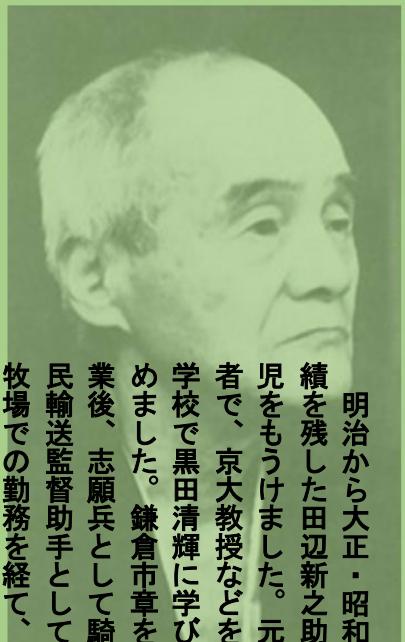
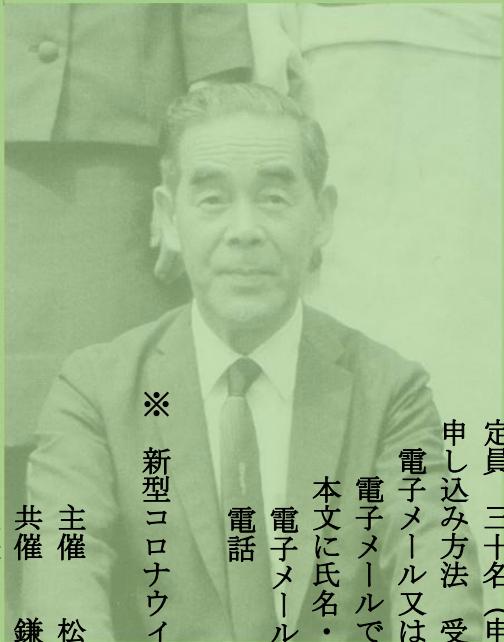
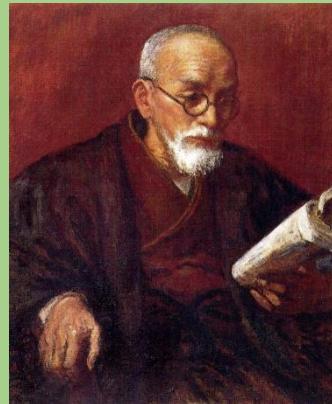
十四時〇〇分～十六時〇〇分

会場 鎌倉市中央図書館 三階 多目的室

〒248-0012 鎌倉市御成町20-36

※ JR・江ノ電 鎌倉駅から徒歩約七分

参加料 無料



明治から大正・昭和の日本を代表する漢詩人で、教育者としても大きな業績を残した田辺新之助（1862～1944号は松坡）は、妻鍼との間に三人の男児をもうけました。元・至・定です。長男元は京都学派の絶対弁証法の哲学学校で黒田清輝に学び、文展・帝展での受賞を重ね、東京美術学校教授を務めました。鎌倉市章をデザインしたことでも知られます。三男定は中学校卒業後、志願兵として騎兵第一連隊入隊、海外興業株式会社嘱託員となり、移民輸送監督助手としてブラジルに渡りました。渡伯後は、海外興業直営種畜牧場での勤務を経て、モジ・ダス・クルーゼスでバザールを開業しました。戦中戦後の日伯交流に大きく貢献しています。

講演では、三兄弟の生涯を父新之助との関係に焦点を当ててお話したいと思います。

松坡文庫研究会

鎌倉市中央図書館の「松坡文庫」（田辺新之助旧蔵書）、及び田辺新之助その人についての調査・研究を目的に一〇一八年に設立された研究会です。

【参加申し込み方法など】

定員 三十名（申し込み順）

申し込み方法 受付開始 一〇一六年三月一日（日）

電子メール又は電話で左記にお申し込み下さい。

本文に氏名・振り仮名・電話番号を記入下さい。
電子メール chulib@city.kamakura.kanagawa.jp

電話 ○四六七（一一五）二二六一（鎌倉市中央図書館）

※ 新型コロナウイルス感染症の感染防止に協力下さい。

主催 松坡文庫研究会
共催 鎌倉市中央図書館
後援 図書館とともにだち・鎌倉 逗子開成中学校・高等学校